

施策評価シート（令和元年度実績）

施策名 **施策7 スポーツを通じた交流・地域づくりを行う**

		施策コード	010007
1. 施策の体系と担当課			
第5次総合計画	将来像	将来像1 心豊かな人が育ち ふるさとに誇りと愛着を感じるまち	
主管課	教育部	スポーツ振興課	
関係課			

2. 施策の目標	
10年後の目標	
誰もが生涯にわたり多様なスポーツを楽しむことができ、地域社会において、スポーツを通じた健康づくりや仲間づくりによる交流の輪が広がっています。 スポーツ団体のみならず、地域の各種団体や企業などが連携しながら、生涯スポーツや地域の活性化を進めています。	
10年後の目標に向かった主な取組み	
市の取組み	
○スポーツ施設に対する市民のニーズを捉え、効率的な施設の整備・運営を行います。また、管理運営手法についても研究を進めます。 ○本市の立地や自然環境などを生かしたスポーツの普及に取り組みます。 ○市民ニーズを反映させたスポーツ・レクリエーション大会、スポーツ教室を開催し、スポーツを楽しむ機会の充実に取り組みます。 ○スポーツを通じて、企業スポーツクラブや民間事業者と地域団体等の交流を促進するとともに、市民の健康増進・地域活性化、産業振興につながるような取組みを進めます。	
市民・団体・事業所等の取組み	
○健康増進のため、スポーツに関心を持ち、生涯スポーツに取り組みます。 ○スポーツ関係団体は自ら研修に参加し、地域スポーツの振興に向けて意識醸成を図り、指導力、企画力の向上に取り組みます。 ○スポーツ関係団体と地域団体や企業などが連携して、地域社会において、スポーツを通じたまちづくりに取り組みます。	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
令和元年度は、来年開催される東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、ホストタウン事業などでスポーツに対する市民の機運が盛り上がっていたが、令和2年3月には新型コロナウイルスの影響により、オリンピック・パラリンピック大会の2021年への延期が決定した。また、プロ・アマを問わずスポーツ活動は休止、又は厳しい制限の下行われている。	
新たな市民ニーズ	
現在のコロナ禍の中で、新しい生活様式に沿った新型コロナウイルス感染防止対策をとりながらスポーツを楽しめる環境が求められている。	

4. 施策にかかるコスト		単位	H30予算	H30決算	R元予算	R元決算	R2予算
コストの内訳	投入人員	人		4.0		4.94	
	正職員数	人		4.0		4.0	
	嘱託員数	人		46,151		49,594	
	人件費	千円		0		3,881	
	直接事業費	千円	107,935	105,151	116,335	110,885	310,677
	間接事業費	千円		1,940		1,964	
財源内訳	フルコスト	千円	107,935	153,242	116,335	166,324	310,677
	使用料及び手数料	千円	21,076	19,529	21,501	20,095	20,804
	国庫支出金	千円					
	府支出金	千円					
	市債	千円	0		0	0	177,700
	その他	千円	9,070	21,867	259	220	243
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）	千円	77,789	111,846	94,575	146,009	111,930
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）	千円	77,789	63,755	94,575	90,570	111,930
備考							

5. 施策の成果指標							
成果指標1		スポーツイベントの参加者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人	毎年度	20,000	増加	17,394	17,566	10,000	18,000
成果指標2		市内体育施設の利用者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人	毎年度	350,000	維持	347,807	329,601	300,000	350,000
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和元年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性	所見	
				人件費						
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込）			
ホストタウン事業 （政策）	台湾との交流事業			0	0	5,209	25,563	成果	A：向上を図る	東京2020オリンピック大会のホストタウン登録を契機に卓球を通じた台湾との交流を進めることができた。
	R元実績	2	回	0	0	9,251	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	-								
体育協会運営事業 （スポ）	府総体地区大会及び市民スポーツ大会参加人数			5,002	5,169	5,012	5,860	成果	B：現状維持	スポーツ振興においてスポーツ協会（令和2年度改名）の各団体の役割が非常に大きい。各団体と連携してスポーツ振興に努める。
	R元実績	4,105	人	5,975	7,565	7,150	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	95.4%								
市民体力づくり事業 （スポ）	事業全体の参加人数			3,429	3,867	3,762	5,999	成果	B：現状維持	各種スポーツ教室などを通じて、市民がスポーツに親しむ環境を作り健康的な生活が送れるように事業展開していく。
	R元実績	13,945	人	4,340	4,964	5,001	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	86.0%								
貝塚市スポーツ少年団本部事業 （スポ）	結団式及び体力テスト参加人数			126	126	126	126	成果	B：現状維持	子どものスポーツ普及に向けては、スポーツ少年団の役割は非常に大きい。引き続き各団体と連携していく。
	R元実績	421	人	3,762	3,796	3,603	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	-								
スポーツ推進委員協議会事業 （スポ）	行政機関の行う事業や団体が行うスポーツ行事への協力人数			1,969	1,999	1,618	2,035	成果	B：現状維持	ニュースポーツの普及やスポーツを通じての健康づくりのためにスポーツ推進委員への期待は大きい。市民へのスポーツ普及活動を効果的にしていく。
	R元実績	67	人	2,667	4,166	3,307	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	-								
学校体育施設開放事業 （スポ）	小中学校体育施設利用人数			1,168	1,140	1,147	1,213	成果	B：現状維持	学校の協力により実施する事業のため、引き続き学校開放運営委員会を円滑に運営していく。
	R元実績	111	千人	1,160	2,343	1,559	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	-								
スポーツ交流推進事業 （スポ）	卓球・野球教室及びクリケット体験会参加人数			1,305	2,510	341	3,400	成果	B：現状維持	日本生命野球部・卓球部の協力により、野球、卓球を通じた交流事業を展開していく。
	R元実績	917	人	2,881	5,520	6,281	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	73.3%								

体育施設維持 管理事業 (スポ)	スポーツ施設利用者総数			91,786	89,650	93,210	265,131	成果	B：現状維持	長期的な改修計画をたて、 安心・安全を最優先に改修に 取り組む。
	R元実績	329,601	人	4,740	15,580	15,820	0	資源 配分	B：現状維持	
	最終目標値に 対する達成率	－								
競技スポーツ 大会出場奨励 金交付事業 (スポ)	個人及び団体への奨励金交付件数			850	690	460	1,350	成果	B：現状維持	全国大会、世界大会出場者 を広く市民に周知し、市民の スポーツへの関心を高める 取組みをしていく。
	R元実績	18	件	1,577	2,217	1,503	0	資源 配分	B：現状維持	
	最終目標値に 対する達成率	36.0%								

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	未達成。スポーツイベント参加者数は前年度より微増しているが、市内体育施設の利用者数は年々減少している。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所 などとの役割分担）に課題はない か	妥当である。

8. 今後の方向性
令和2年は、本来なら東京2020オリンピック・パラリンピックの開催年であり、全国的にスポーツが大いに盛り上がる場所だったが、世界に蔓延している新型コロナウイルスの影響でオリンピックが延期となり、日常生活においても、新しい生活様式の実践が求められている。しかし、このような状況の中で新型コロナウイルス感染防止対策をとりながらスポーツを楽しめる環境を整備していく。